

2017年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 クラブ愛知賞 資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2018年3月3日(土) 11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">一. 開式一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲一. 挨拶 愛知大学 学長 川井伸一一. 後援会奨励賞
選考結果報告 愛知大学 学生部
奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 山田哲也一. 同窓会奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 八木好郎
奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 土井義昭一. クラブ愛知賞
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 会長 服部晋吾 | <ul style="list-style-type: none">一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告
愛知大学 就職委員長 田中英式
奨励賞授与
愛知大学 学長 川井伸一一. 受賞者代表謝辞
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
後援会奨励賞受賞者 代表
同窓会奨励賞受賞者 代表一. 閉式 |
|---|---|

● 最優秀奨励賞

個人

に っ た ひ で た か
新田 英貴氏 | 昭和62年法経学部法学科入学



軟式野球全国五冠達成

◆ 推薦趣旨 ◆

準硬式野球部員だった新田氏は1部リーグで投手として活躍し、現在は和合病院に勤務、軟式野球部の監督として活躍しています。その指導の下、同野球部を県内屈指の強豪チームに育てました。昨年、平成29年の成績は特に素晴らしく、第67回東海五県軟式野球大会、第72回国民体育大会軟式野球競技（愛媛県）、天皇賜杯第72回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント（兵庫県）、第62回中部日本都市対抗軟式野球大会（愛知県）、第1回スポニチ杯全日本軟式野球大会を優勝し全国五冠を達成して、約35,000チームの頂点を極めました。全国大会総なめと言っていいほどの快挙で、県の知名度アップに貢献、愛大生にとりましても模範とすべき存在となっています。

- ◇ 略歴 ◇ 平成12年 第55回国民体育大会軟式野球競技（富山県）準優勝。平成12年 第45回中部日本都市対抗軟式野球大会 準優勝。平成14年 第47回政府管掌全国軟式野球大会（神奈川県）準優勝。平成16年 第54回東海五県軟式野球大会 準優勝。平成19年 第4回・平成27年第12回都市間交流スポーツ大会軟式野球競技 優勝。平成20年 第21回東海選抜軟式野球大会（大垣市）優勝。平成22年 第55回中部日本都市対抗軟式野球大会 準優勝。平成28年 第61回中部日本都市対抗軟式野球大会 準優勝。平成28年 第66回東海五県軟式野球大会 優勝ほか多数。
- ◇ 受賞歴 ◇ 平成29年12月22日 第67回日本スポーツ賞最優秀団体の部。平成30年1月26日 県軟野連より特別表彰。平成30年3月予定 県体育表彰（団体1位）、中日スポーツ功労賞。野球殿堂博物館に和合病院五冠達成の展示がされています。

ふ か み た だ し
深見 忠司氏 | 平成10年経済学部卒業



中学校及び JOC におけるハンドボール指導

◆ 推薦趣旨 ◆

深見忠司氏は、平成10年3月に愛知大学経済学部を卒業したのち、平成11年より名古屋市立汐路中学校に赴任、同はとり中学校を経て、現在同滝ノ水中学校に勤務している。この間、男子ハンドボール部顧問（監督）として、平成14年全国中学校体育大会において準優勝に導いたのを皮切りに、全国中学生ハンドボール選手権大会では出場6回のうち優勝1回・第3位1回、全国中学校体育大会（ハンドボール男子）では出場9回のうち優勝2回・準優勝2回・第3位1回、さらに JOC ジュニアオリンピックカップ・ハンドボール大会では愛知県選抜チームの監督として出場した6回のうち優勝4回・第3位1回という素晴らしい成績を収め、「優勝請負人」と称されています。「選手たちに目標を自覚させ、自ら考える力を養い、能力アップを図る」という同氏の指導方法は、子どもの才能を伸ばすための極意としてテレビ放映され、また、日本ハンドボール協会全国 U-12指導者研修会で、同氏から全国の指導者に教授されています。

- ◇ 略歴 ◇ 平成6年3月 名古屋市立桜台高校 卒業。平成6年4月 愛知大学経済学部 入学。平成10年3月 愛知大学経済学部 卒業。平成11年4月 名古屋市立汐路中学校。平成17年4月 名古屋市立はとり中学校。平成24年4月 名古屋市立滝ノ水中学校。

● 優秀奨励賞

個人

お さ だ は や ひ さ
長田 勇久氏 | 昭和63年法経学部経営学科卒業



日本の和食文化を世界に発信また「地産地消」「食育」の啓蒙に尽力

◆ 推薦趣旨 ◆

長田さんは、愛知大学卒業後、東京の有名料亭「つきぢ田村」にて6年余り修行後、父の営む「日本料理 小伴天」に入社、現在、社長職の傍ら、「日本料理 一灯」の店主として、特に愛知の伝統野菜や三河湾の新鮮な魚貝類を素材に、愛知が誇る発酵調味料を使用し、父親直伝の真空調理を駆使して、和食を提供しています。一方、料理人ならではの視点でもって地元はもちろん、全国・海外にも「和食」「愛知の食」を伝えるとともに、真空調理をはじめとする新調理の講師として各地で講演や指導をしています。「地産地消」「食育」の啓蒙には特に力を注いでおり、テレビ・新聞などにも多数出演し、幅広く活動しています。

- ◇ 略歴 ◇ 愛知大学卒業後、東京「つきぢ田村」にて料理修業。現在、（有）小伴天代表取締役社長。日本料理一灯店主。愛知大学オープンカレッジ講師。和食文化国民会議幹事。新調理技術協議会理事。

あ し ざ わ え り
芦沢 衣里氏 | 経営学部3年



2017ユニバーシアード台北大会で日本代表として個人戦・団体戦で好成績

◆ 推薦趣旨 ◆

第29回夏季ユニバーシアード競技大会（台湾・台北）
第20回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権 第3位（千葉県）

- ◇ 略歴 ◇ 2015年4月 愛知大学経営学部会計ファイナンス学科入学。2019年3月愛知大学経営学部会計ファイナンス学科卒業見込み。

高木 基恵氏 | 昭和42年短期大学部卒業



日本画の研鑽と普及振興

◆ 推薦趣旨 ◆

高木基恵さんは、昭和42年3月短期大学部生活科を卒業後、地元企業に就職し勤務の傍ら趣味で日本画を始め、団体展白士会に9年間出品して研鑽を積み、以後日展、日春展に入選を重ね、現在両会の会友に推挙され活躍しています。現在、豊橋市吉田方地区市民館、福岡校区市民館で「青羅日本画教室」を主宰し後進の指導育成に当たっています。市民館まつりに教室展を併せ開催し花を添えるのは恒例となり地域の方々の楽しみにもなっています。高木さんは公募展の入選作品を各地の公共施設に寄贈し日本画鑑賞の機会を設けて頂いています。日本画が小中学校の美術教育に含まれて居ない現状から、伝統文化の日本画の普及と発展に貢献するための使命感の強さには共感を感じます。日本画を身近に取り戻すために、全く日本画に関心の無かった方を対象に昨年よりボランティア「日本画で遊ぼう！えの会」を立ち上げ、第1回の催しは盛況に開催されました。

◇ 略歴 ◇ 昭和42年3月 愛知大学女子短期大学部卒業。平成7年11月 豊橋市民展特選をはじめ以後各種公募展特選、入選を重ねる。平成13年4月 日本画塾「青羅」を自宅に解説、以後地区市民館等にも開設。平成16年10月 日展入選（以後11回入選）。平成17年3月 日春展入選（以後10回入選）。平成20年10月 豊橋市地域文化振興奨励賞授与。平成27年1月 豊橋市生涯学習推進大会・教育委員会より感謝状授与。平成28年3月 日春展会友推挙。平成29年4月 日展会友推挙。

● 奨励賞

個人

鈴木 雅宣氏 | 平成21年大学院中国研究科修了



尺八を通じ社会貢献

◆ 推薦趣旨 ◆

鈴木さんは、子供の頃からと思いますが、尺八に興味を持ち、尺八の歴史を通じ、日本民族の歴史、文化を研究。数々の受賞歴もあります。静岡県西部を中心に社会活動を活発に行っており、中日新聞、静岡新聞にもその活動が取り上げられています。

◇ 学歴 ◇ 昭和33年3月 静岡大学教育学部卒業。平成14年3月 愛知大学文学部卒業。平成15年3月 作陽音楽短期大学専攻科邦楽専修修了。平成21年3月 愛知大学大学院中国研究科博士前期課程修了。
◇ 職歴 ◇ 昭和33年9月～昭和46年2月公立小中学校教諭。昭和46年2月～昭和53年3月特定郵便局長。昭和53年3月～平成元年5月尺八講師。平成元年6月～平成11年6月特定郵便局長。平成16年4月～平成17年3月公立中学校講師。
◇ 尺八プロフィール ◇ 昭和29年より尺八に親しむ。昭和42年より横山蘭政師・横山勝久師に師事して琴古流と外の普及尺八、現代尺八を学ぶ。平成7年大師範位。

● 奨励賞

団体

愛知大学短期大学部



サービス接遇検定 文部科学大臣賞団体賞 受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

文部科学省後援、実務技能検定協会主催のサービス接遇検定を団体受験した愛知大学短期大学部生66名が非常に優秀な成績を取めた。中でも2級では全国合格平均58.1%に対して83.3%と高い合格率であり、面接試験の準1級でも82%に対して92.3%であった。本短期大学部の「サービス接遇」の授業で熱心に学生が学んだ成果と言える。その結果、サービス接遇技能検定において、全国の大学で唯一の文部科学大臣賞団体賞を受賞することとなった。本短期大学部が2012年に「サービス接遇」の授業を導入して以来初の快挙であり、授業履修者はこの検定を通して身につけた知識・能力を就職活動にも活かし、社会に出たときにもその力を発揮してくれるものとする。

為廣ゼミナール | 吉田 知似・熊 伶児・森 由希那・小林 実央



名古屋マーケティング・インカレ優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

名古屋マーケティング・インカレは2006年から毎年開催されている、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、マーケティングを研究する学生が大学を越えて、交流をもち、研究を深めようことを目的として、2006年から毎年開催されています。今年度は、5大学(愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学)7ゼミナールの学生(約140名、約25チーム)が参加した。為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2017年度はこのうちの Qeazy と名乗る1チームが「スマホがある中で一眼カメラを買ってもらうには」というテーマでのぞみ、優秀賞に選ばれた。

愛知大学吹奏楽団



長き伝統を誇り、抜群のチームワークを持ち、活発で多彩にわたる演奏活動を行う

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学吹奏楽団は昭和39年に同志数名によって同好会として発足し、現在では創団数十年を数える屈指の伝統をもつサークルです。大学の入学式、学位授与式・卒業式、オープンキャンパス、ほかのクラブ・サークルの記念式典や地域の様々な行事での演奏、他大学との合同演奏の企画等、伝統のチームワークで、幅広い活動を行っています。2017年11月には記念すべき50回目の定期演奏会を催し、例年以上に多くの一般聴衆を魅惑の世界に誘い、盛会裏に終えています。

愛知大学落語研究会



落語を通じて地域に癒し

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学落語研究会は、1966（昭和41）年の創部以来50余年の歴史を誇ります。活動は脈々と受け継がれ、地域の皆さんに楽しんでもいただけるよう、年に一度豊橋で開催される卒業公演「愛大落語会」から、老人ホームなどに出向く出張落語まで、様々な場所で日頃の練習の成果を披露しています。同窓会の支部総会に余興として呼ばれることもあります。また、落語研究会の活動は落語を披露するだけでなく、高座に上がる際の出雑子や、ポスターなどに使われる寄席文字にも及びます。近頃では、落語を披露するだけでなく、地域の落語会から出雑子の生演奏を依頼されることもあります。「蒲郡落語を聴く会」においては10年ほど前から出雑子を担当しています。出張落語は月に4～5件程、多い月には10件を超えることもあり、これもひとえに地域の皆さんとコミュニケーションが取れているからこそと思います。

豊橋日曜学校



日曜日に近隣の知的障害をもった子供たちと定期的に交流しているボランティアサークル

◆ 推薦趣旨 ◆

豊橋日曜学校（以下「日曜学校」と略す。）は、主として授業のない日曜日に近隣の知的障害をもった子供たちと定期的に色々な催しで交流している自主的なボランティアサークルで、「子供たちのために」の実践を活動目的の柱に、40年以上にわたって、愛知大学生のみならず、豊橋市内の豊橋技術科学大学ほか他大学の学生も参加し、数十名で活発な活動を行っています。学生の手作りによる諸行事は、その四季の移りかわりにあわせ、計画・実施されており、とかく外に出ることに消極的になりがちな知的障害の子供たちも、こうした声掛けにより、徐々に打ち解け、笑顔を見せてくれるといえます。

愛知大学学生地域貢献事業「ローカルボイス」



学生地域貢献事業

◆ 推薦趣旨 ◆

学生地域貢献事業の1グループとして2016年度に活動を開始した「ローカルボイス」は、大きな隔たりのある消費者と生産者の間をつなぐ役割、特に、モノとイメージが一体となった商品を作り出すブランド化に関しては、時代の流れに敏感な若者ならではの役割と活躍の場があるのではないかと考え、まずは、消費者の意向を店頭でアンケートを取って調べ、他方で、消費者にどんな情報を伝えたらよいか、実際に農家に向いて作業を手伝いながら、生産現場を体験しました。2年目の2017年度は、メンバー8名で活動を継続し、実際に消費者と小規模農家の両者をつなぐ活動として、①蒲郡祭にブース出展して「冬瓜フルーツポンチ」の販売、②豊橋市こども未来館におけるマルシェで収穫体験コーナーを設置しての野菜販売など新しい試みを企画し実践しました。こうした活動は新聞でも紹介され、社会的な関心をひき、大きな反響をよんだといえると思います。

クラブ愛知賞

団 体

（ジョウナー・ボランティア）Johner. Volunteer.



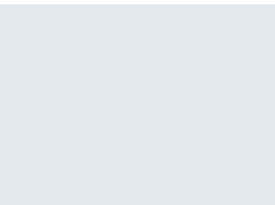
地域社会貢献・清掃活動

◆ 推薦趣旨 ◆

1つが、大学から名古屋駅近くまでの「清掃活動」で、有志の学生が集まり、名古屋校舎が開校した2012年5月から行っていた清掃活動について、2012年12月に「Johner. Volunteer.」として、正式に大学にクラブ登録し、約5年9ヶ月の長期間に渡り、毎週1回昼休み時間を使い、清掃活動を行ってきました。もう1つは、「学内寄付活動」で、身近にできる社会貢献活動の一環として、同クラブが発足した2012年12月に開始しました。衣類を中心とした寄付品を、1年間で段ボール約50個相当集め、それらは、全て、季節、性別、年齢等により、仕分け等を行った上で、NPO・生活困窮者支援団体に届けており、「これほどの規模で寄付いただける学校は、他にない」と、非常に喜ばれています。

同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験



杉浦 真吾

2010年3月修了



田岸 大輝

2014年3月修了



竹中 寛乃

2015年3月修了



稲垣 正浩

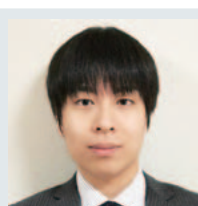
2017年3月修了

司法試験



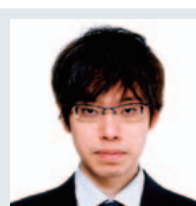
高橋 良太

2017年3月修了



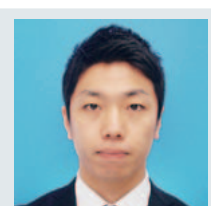
二村 勇輝

経営学部4年生



篠田 秀允

経営学部3年生



西本 優介

経営学部3年生

公認会計士試験

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概 要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

- ① 最優秀奨励賞：100,000円
- ② 優秀奨励賞：50,000円
- ③ 奨励賞：30,000円
- ④ クラブ愛知賞：100,000円

*個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

- ① 最優秀奨励賞：
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ② 優秀奨励賞：
中部・東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ③ 奨励賞：
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位～8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優 勝	準優勝、3位	4位～8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優 勝	準優勝
その他の大会			優 勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

出願資格

（社会貢献の部）

- ① クラブ愛知賞：
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研修支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概 要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金 額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。

